

特集・陛下とともに 日光の夏

天皇・皇后両陛下と紀宮様 日光をご訪問

●本格的な暑い夏を迎えた日光は、今年は特別華やいだ雰囲気になりました。

ご静養のため栃木県をご訪問中の天皇・皇后両陛下は、七月二十六日(金)～二十七日(土)の二日

間、紀宮清子様とともに日光をご視察。昭和十九年夏から約一年間疎開されていた旧田母沢御用邸に五十二年ぶりにお入りになられるなど、思い出の地「日光」を懐かしそうに散策されま

した。

●七月二十六日の昼前、大勢の市民や観光客が歓迎のお出迎えをするなか、日光にご到着された両陛下は、二荒山神社、東照宮、輪王寺を訪れ、各宮司や門跡の案内で建物や仏像をご見学。昼には皇居から直接日光にご到着された紀宮様も合流され、旧山内御用邸の輪王寺本坊でご昼食をとられた後、お揃いで旧田母沢御用邸をご視察になりました。

●旧田母沢御用邸の車寄せでは、渡辺文雄栃木県知事や岸野節男県議会議長、小平英哉日光市長、大類隆男市議会議長ほか関係者が両陛下と紀宮様にお出迎えのご挨拶。陛下は玄関前で五十一年前の疎開生活を思い出されたのか、建物の造作や庭の木々をご確認するように、ゆっくり眺めておられました。

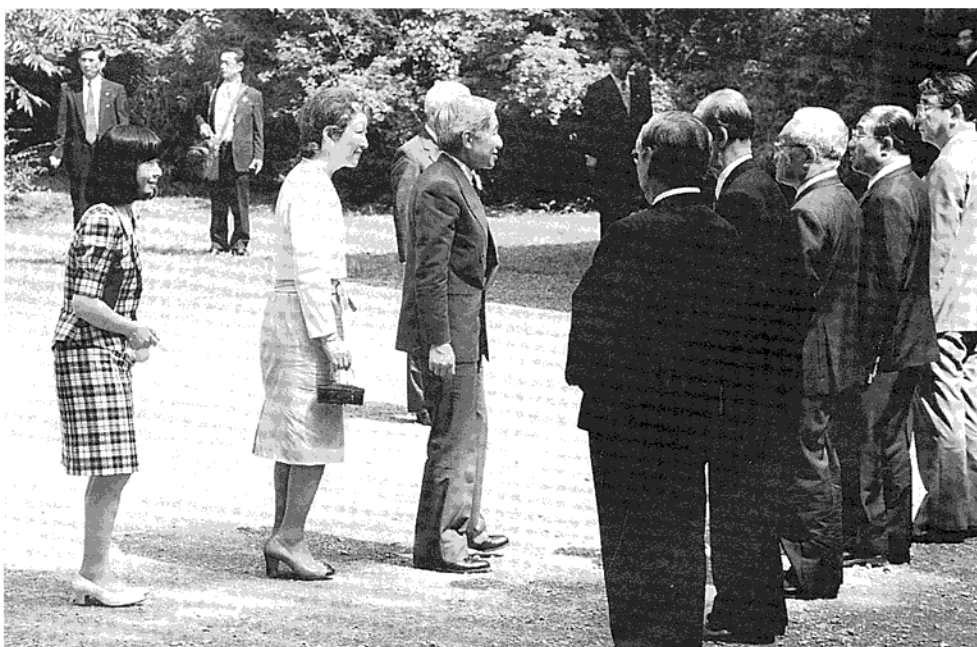
●旧田母沢御用邸は老朽化が激しいため、修復整備をする目的で今年の六月に栃木県が大蔵省から払い下げを受けましたが、

修復工事に着工する前にぜひ見学をしたいとの陛下のご希望で、ご視察が実現しました。

明治三十二年に旧赤坂離宮の建物を移築して建てられた旧御用邸は、約四千五百平方メートル、木造二階建(一部三階建)で部屋数は一〇六室。これほどの規模を持つ木造建築は数が少

なく、近代和風宮殿様式として建築学的に見ても貴重な建物と高く評価されており、払い下げを受けた栃木県の手で大改修が行われる予定です。

●高橋武紀県総務部長の案内で旧御用邸の内部を見て廻られた天皇陛下は、かつて勉強をした西側二階の旧御学問所の窓辺に



旧田母沢御用邸の車寄せでお出迎えする 県知事、県議会議長、日光市長、市議会議長ら



稲葉宮司の案内で、東照宮境内をご見学